



(c)Caladan Oceanic/Inkfish

日本周辺の超深海調査でギネス世界記録を更新！ 4/4 に東京海洋大学で公式認定証授与式を実施

小笠原海溝で発見した魚が「Deepest fish (最も深い場所で確認された魚)」として
ギネス世界記録™ (以下、ギネス世界記録) に認定されます
(ギネスワールドレコーズサイト上の記録掲載は4月4日14時以降を予定)

国立大学法人東京海洋大学(以下、「東京海洋大学」)は、令和4年8～9月から東日本大震災震源域を含む、日本周辺の4つの超深海海溝域を科学的に調査するため、2か月間に有人潜水艇で7回の潜航64回のランダーを用いた観測を行いました。その際に、小笠原海溝の水深8336メートルで映像として捉えられたスネイルフィッシュが世界最深部で発見された魚として、ギネス世界記録に認定されました(発見された日付:2022年8月15日)。スネイルフィッシュ発見には、西オーストラリア大学深海研究センターのアラン・ジャミーソン所長・教授の長年にわたる研究成果が貢献しています。

今回の調査は、東京海洋大学 海洋環境科学部門 北里洋(きたざとひろし)博士研究員が日本側研究調査責任者を務め、名古屋大学、東京海洋大学、西オーストラリア大学、海洋研究開発機構、新潟大学、東京大学、南デンマーク大学などで構成される研究グループによる「プレッシャー・ドロップ号による環太平洋火山帯航海2022(Ring of Fire 2022)」として実施しました。ギネス世界記録に認定されたスネイルフィッシュの発見だけではなく、日本近海の豊かな生物多様性や東日本大震災による海底の変化等の地質多様性など、様々な新発見があった調査でした。

調査の詳細については論文として公表するほか、今夏、東京海洋大学マリンサイエンスミュージアムと国立科学博物館、テレビ番組等が連携し、様々な視点から紹介させていただく予定です。

ギネス世界記録認定証授与式について

記録認定を受け、以下のとおり認定証授与式を実施いたします。ご出席をご希望されるメディアの方は本学広報室（so-koho@o.kaiyodai.ac.jp）までご連絡ください。事前連絡が難しい場合には、当日品川キャンパスの守衛室に出席の旨をお伝えいただき、入構をお願いいたします。

実施日程：令和5年4月4日（火）14時00分開始

実施場所：国立大学法人東京海洋大学 品川キャンパス

東京都港区港南 4-5-7 白鷹館 2F 多目的スペース1

実施内容：北里博士ヘギネスワールドレコーズジャパン 石川佳織（いしかわかおる）代表より
公式認定証の授与、写真撮影

※アラン・ジャミーソン所長・教授は、オンラインで出席予定です。

※写真撮影後に質疑応答を実施します。

